

FY2023 1Q

Financial results
briefing

決算説明会資料

～2023年3月期 第1四半期～

2022/8/1

日本ハム株式会社

Copyright © NH Foods Ltd. All Rights Reserved. (無断転載禁止)



CONTENTS

1. 2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績

- 4. 実績ハイライト① 2023年3月期 1 Q実績
- 5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績
- 7. セグメント情報 加工事業本部
- 9. セグメント情報 食肉事業本部
- 11.セグメント情報 海外事業本部

2. 2023年 3 月期 計画

- 14. 計画ハイライト
- 17. 2023年3月期計画 加工事業本部
- 18. 2023年3月期計画 食肉事業本部
- 19. 2023年3月期計画 海外事業本部

3. 2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料

- 21. 2022年3月期連結業績概要及び
2023年3月期計画
- 22. 2022年3月期品種別売上高実績及び
2023年3月期計画
- 23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び
連結キャッシュ・フロー計算書
- 25. 外部環境／市況

※ 当社は国際会計基準（IFRS）を適用しています。

※ 当社グループは、事業活動を通じて獲得する利益をより明確に示すことを目的として、2020年3月期の連結業績予想から従来の営業利益に替えて、事業利益（売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益、IFRSへの調整及び非経常項目を調整して算出）を開示しております。

※ 四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

CONTENTS

1. 2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績

- 4. 実績ハイライト① 2023年3月期 1 Q実績
- 5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績
- 7. セグメント情報 加工事業本部
- 9. セグメント情報 食肉事業本部
- 11.セグメント情報 海外事業本部

2. 2023年 3 月期 計画

- 14. 計画ハイライト
- 17. 2023年3月期計画 加工事業本部
- 18. 2023年3月期計画 食肉事業本部
- 19. 2023年3月期計画 海外事業本部

3. 2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料

- 21. 2022年3月期連結業績概要及び
2023年3月期計画
- 22. 2022年3月期品種別売上高実績及び
2023年3月期計画
- 23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び
連結キャッシュ・フロー計算書
- 25. 外部環境／市況

2023年3月期 1 Q実績

(単位：億円)

	22年3月期1Q	23年3月期1Q	前年差	増減率
売上高	2,788	3,115	327	11.7%
事業利益	124	92	△ 33	△26.2%
内) 継続事業 事業利益	121		△ 30	△24.4%
事業利益率	4.3%	2.9%	△1.4%	-
税引前当期利益	155	144	△ 11	△7.1%
親会社に帰属する当期利益	99	102	3	2.8%
継続事業当期利益	107	105	△ 2	△1.6%
非継続事業当期利益	△ 8	△ 3	5	-

前年差増減要因

売上高は、輸入調達価格の上昇による価格転嫁や、海外事業の牛肉、鶏肉販売価格の上昇で 11.7%増収

事業利益は、加工事業本部と食肉事業本部の外部環境が悪化価格改定による数量減少も影響し減益

税引前当期利益は、 営業利益の減少と営業外損益の増加が影響し7.1%減少

親会社に帰属する当期利益は、 法人所得税費用の減少と非支配持分帰属の四半期利益の増加で2.8 %増加

1. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績

第1四半期の事業利益は海外事業本部の牽引はあったが、国内事業の外部環境の悪化や価格改定による主力ブランドの販売数量減少の影響で減益

セグメント別事業利益実績

(単位：億円)

	22年3月期1Q	23年3月期1Q	前年差	増減率
加工事業本部	33	12	△ 21	△63.3%
内) 継続事業	30		△ 18	△59.6%
食肉事業本部	95	71	△ 25	△25.9%
海外事業本部	△ 2	3	6	—
球団・その他	4	8	4	117.2%
消去調整他	△ 6	△ 3	3	—
連結計	124	92	△ 33	△26.2%

前年差増減要因

加工事業本部

主原料・副資材、電燃料が想定以上に高騰

価格改定により単価上昇し利益率は改善したが、主力ブランドの販売数量減少で減益

食肉事業本部

飼料価格の高騰による生産事業の収益圧迫を補えず減益

海外事業本部

豪州の牛肉販売やトルコの鶏肉販売で価格転嫁が進み増益

球団・その他

入場規制の緩和やBIGBOSS効果で観客動員数が昨年を上回り増益

CONTENTS

1. 2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績

- 4. 実績ハイライト① 2023年3月期 1 Q実績
- 5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績
- 7. セグメント情報 加工事業本部
- 9. セグメント情報 食肉事業本部
- 11. セグメント情報 海外事業本部

2. 2023年 3 月期 計画

- 14. 計画ハイライト
- 17. 2023年3月期計画 加工事業本部
- 18. 2023年3月期計画 食肉事業本部
- 19. 2023年3月期計画 海外事業本部

3. 2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料

- 21. 2022年3月期連結業績概要及び
2023年3月期計画
- 22. 2022年3月期品種別売上高実績及び
2023年3月期計画
- 23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び
連結キャッシュ・フロー計算書
- 25. 外部環境／市況

価格改定実施後の販売数量の減少により減収。主原料・副資材、電燃料価格の高騰とミックスの悪化で減益

2023年3月期実績 (単位：億円)

	22年3月期 1Q	23年3月期 1Q	前年差	増減率
売上高	1,182	990	△ 193	△16.3%
内) 継続事業 売上高	1,021		△ 31	△3.1%
事業利益	33	12	△ 21	△63.3%
内) 継続事業 事業利益	30	12	△ 18	△59.6%
事業利益率	3.0%	1.2%	△1.8%	－

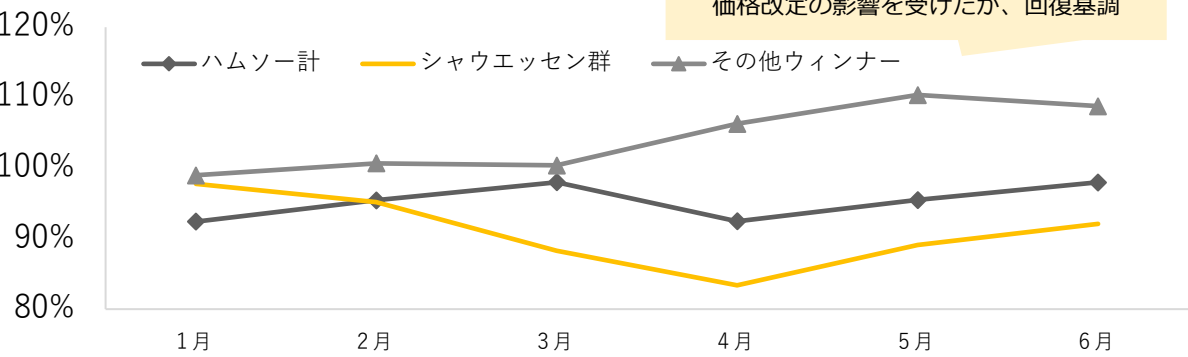
チャネル別/コンシューマ商品別売上実績 (前年比)

ハム・ソーセージ	数量	金額	ハム・ソーセージ	金額	デリ商品	金額
コンシューマ計	95%	95%	ウインナー群	99%	チルドベーカリー群	102%
業務用計	101%	101%	ロースハム群	108%	チルド惣菜群	86%
デリ商品	数量	金額	ベーコン群	103%	フライドチキン群	106%
コンシューマ計	89%	95%	焼豚群	98%	ハンパ・グ・ミートボール群	94%
業務用計	95%	99%	コンシューマ計	95%	コンシューマ計	95%

コンシューマ商品売上実績

- ・ハム・ソーセージ：シャウエッセン大袋や豊潤が大きく伸長したが、価格改定による販促機会の減少や低価格帯商品への消費移行により通常タイプのシャウエッセンの販売が減少
- ・デリ商品：チルドベーカリー等のスナック群は需要拡大で伸長したが、チルド惣菜等が価格改定直後の販促機会が減り減少
- ・乳製品：「のむバニラヨーグルト」等の新商品を投入したが、通常タイプのバニラヨーグルトが伸び悩み減少

売上推移 (金額)



業務用商品売上実績

- ・ハム・ソーセージ：価格転嫁を進めており厳しい販売環境の中、CVS向けが前年を上回り、前年並みを維持
- ・デリ商品：原料高騰の影響で、CVS向け販売が減少
- ・乳製品・エキス、一次加工：外食向け需要の拡大で、好調に推移

事業利益増減要因分析

(単位：億円)

	23年3月期 1Q実績
ハム・ソーセージと デリ商品事業	△14
外部要因	△24
主原料価格	△10
副資材・燃料等	△15
内部要因	11
価格改定効果	7
改善活動	3
乳製品・水産と エキス・一次加工品事業	0
DX費用	△4
合計	△18

※非継続事業（マリンフーズ）を除く、継続事業との前年差を比較

昨年差異要因分析

【外部要因】 △24億円

円安・調達価格・輸送コストの高騰により調達コストが大幅に上昇

(主な内訳)

主原料：牛肉・豚肉・鶏肉すべての畜種が高騰

副資材：羊腸・油だけでなく包材関連も高騰

燃料等：エネルギーコスト全般の高騰

【内部要因】 11億円

価格改定効果：

価格改定により販売単価は上昇したが、消費の弱さで販売数量が減少

販売数量減少に伴い製造工場の稼働率が低下し、固定費率が上昇

外部環境の悪化をカバーするには至らず

改善活動：主力ブランド減少による商品ミックスが悪化

【乳製品・水産とエキス・一次加工品】 0億円

乳製品（チーズ）：価格高騰により、得意先での使用量減少で収益悪化

（ヨーグルト）：価格改定で主力のバニラヨーグルトの販売数量が減少

エキス・一次加工品：外食需要の回復により収益確保

3. セグメント情報 食肉事業本部①

主に輸入牛肉・輸入鶏肉の販売価格上昇もあり増収、国内生産事業の生産コスト高騰により収益が圧迫され減益

2023年3月期実績

(単位：億円)

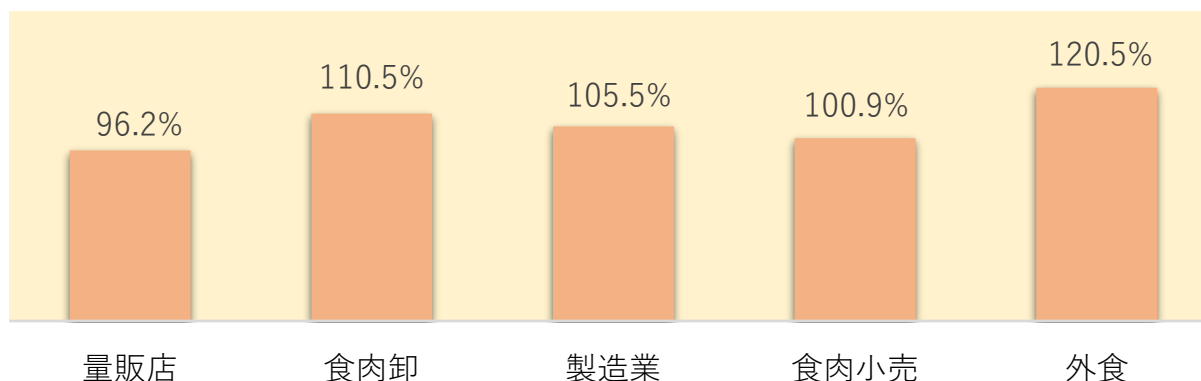
	22年3月期1Q	23年3月期1Q	前年差	増減率
売上高	1,626	1,790	164	10.1%
事業利益	95	71	△ 25	△25.9%
事業利益率	5.9%	3.9%	△1.9%	-

畜種別売上実績

- ・牛肉：輸入品の調達価格高騰により販売価格が上昇し増収
- ・豚肉：国産相場上昇と輸入品調達価格高騰により販売価格が上昇し増収
- ・鶏肉：輸入品の調達価格高騰も、堅調な需要により価格転嫁が進み増収

チャネル別売上数量実績（前年比）

2023年3月期 フード4社の販売実績
全体の数量伸長 103.4%



チャネル別売上実績

- ・量販店：輸入調達価格の高騰から販売価格が上昇し金額は伸長したが、数量は牛肉を中心に販売が縮小し、昨年を下回った
- ・外食：牛肉の販売単価上昇や、経済活動の本格的な再開に合わせ売上伸長も、本格的な回復には道半ば

事業利益増減要因分析

(単位：億円)

	23年3月期 1 Q実績
国産牛・豚事業	1
国産鶏事業	△ 1 7
輸入食肉事業	△ 3
フード販売	7
DX費用	△ 4
その他	△ 8
合計	△ 2 5

昨年差異要因分析

【国産牛・豚事業】 1 億円

生産部門：相場堅調も、飼料価格・燃料価格高騰の影響で収益を圧迫

荷受部門（牛肉）：輸入品高騰により国産需要が堅調で増益

【国産鶏事業】 △ 17 億円

生産部門：期初の軟調な相場、飼料価格・燃料価格の高騰の影響を受け減益

荷受部門：外食の回復や輸入品高騰による国産シフトもあり需要堅調

20周年を迎えた桜姫も好調に推移し増益

【輸入食肉事業】 △ 3 億円

牛肉：調達価格の高騰や入船遅延等で輸入量が減少

豚肉：外食の回復からフローズンは安定も、チルドは入船遅れや調達不安もあり国産シフトしたことで、需要減退

鶏肉：調達価格高騰も、国内相場も高騰し価格転嫁が進み増益

【フード販売】 7 億円

販売：量販向け販売は、価格高騰や節約志向の影響もあり需要減退も、回復基調の外食向け販売を強化し、畜種ミックスが改善
ブランド食肉の販売も伸長

【その他】 △ 8 億円

主に輸入牛肉における棚卸資産の評価損が発生

4. セグメント情報 海外事業本部①

豪州事業における牛肉販売やトルコ国内での鶏肉販売において価格転嫁が進み増収増益

2023年3月期実績

(単位：億円)

	22年3月期 1Q	23年3月期 1Q	前年差	増減率
売上高	604	844	240	39.7%
事業利益	△ 2	3	6	-
事業利益率	-	0.4%	-	-

地域別売上実績

【豪州事業】

オーストラリア：処理頭数が増加し販売数量が昨年を上回った
販売価格も引き続き好調に推移し増収
ウルグアイ：中国向けの販売回復により大幅に増収

【米州事業】

加工品：鶏肉加工品の販売が引き続き好調に推移
輸出：日本向けの豚肉輸出が好調に推移

【アジア・欧州事業】

タイ（加工品）：原料価格の高騰や円安の影響で、日本向けの
輸出数量が減少
トルコ（鶏肉）：高騰する生産コストに対して、価格転嫁が
順調に進み増収

売上高実績内訳

(単位：億円)

外部顧客売上高実績

(単位：億円)

	22年3月期 1Q	23年3月期 1Q	前年差	増減率
豪州	217	364	147	67.6%
オーストラリア	178	258	79	44.5%
ウルグアイ	39	106	67	174.3%
米州	237	300	63	26.8%
アジア・欧州	155	190	35	22.6%
消去・調整他	△ 4	△ 9	△ 5	-
合計	604	844	240	39.7%

	22年3月期 1Q	23年3月期 1Q	前年差	増減率
豪州	184	318	134	72.7%
オーストラリア	151	226	75	49.7%
ウルグアイ	33	91	58	175.8%
米州	60	81	21	35.4%
アジア・欧州	65	87	22	33.7%
合計	309	485	177	57.3%

事業利益増減要因分析

(単位：億円)

	23年3月期 1 Q実績
豪州	5
オーストラリア	2
ウルグアイ	3
米州	0
アジア・欧州	0
その他	0
合計	6

事業利益

(単位：億円)

	22年3月期 1 Q	23年3月期 1 Q	前年差
豪州	△ 2	3	5
オーストラリア	5	7	2
ウルグアイ	△ 7	△ 4	3
米州	1	1	0
アジア・欧州	1	2	0
その他	△ 2	△ 3	0
合計	△ 2	3	6

昨年差異要因分析

【オーストラリア】 2億円

処理頭数の増加による利益額の確保と堅調な販売価格により増益
ブランド比率も上昇し収益を確保

【ウルグアイ】 3億円

生体価格は想定以上に高騰したが、堅調な需要により販売価格は
高値が続き増益

【米州】 0億円

鶏肉原料価格や物流費・エネルギーコストの上昇で収益が圧迫

【アジア・欧州】 0億円

タイ：輸出数量の減少と鶏肉原料価格の上昇により減益

トルコ：生産コストの高騰に対して、価格転嫁が順調に進み増益

CONTENTS

1. 2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績

- 4. 実績ハイライト① 2023年3月期 1 Q実績
- 5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績
- 7. セグメント情報 加工事業本部
- 9. セグメント情報 食肉事業本部
- 11.セグメント情報 海外事業本部

2. 2023年 3 月期 計画

- 14. 計画ハイライト
- 17. 2023年3月期計画 加工事業本部
- 18. 2023年3月期計画 食肉事業本部
- 19. 2023年3月期計画 海外事業本部

3. 2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料

- 21. 2022年3月期連結業績概要及び
2023年3月期計画
- 22. 2022年3月期品種別売上高実績及び
2023年3月期計画
- 23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び
連結キャッシュ・フロー計算書
- 25. 外部環境／市況

2023年3月期通期計画

(単位：億円)

	22年通期実績	23年通期計画	前年差	増減比
売上高	11,744	12,400	656	5.6%
事業利益	481	430	△ 51	△10.6%
内) 継続事業利益	458		△28	△6.1%
事業利益率	4.1%	3.5%	△0.6%	-
税引前当期利益	514	420	△ 94	△18.2%
親会社に帰属する当期利益	480	310	△ 170	△35.5%

前年差増減要因

売上高は、食肉単価の上昇や数量増の影響で増収の見込み

事業利益は、加工事業本部が計画を見直したことにより、
6.1%の減益見込み

税引前当期利益は、 昨年の持分法による投資損益が影響し、
18.2%減の見込み

親会社に帰属する当期利益は、 マリンフーズ(株)の株式譲渡等
の影響で35.5%減の見込み

想定以上の外部環境の悪化で計画を見直した
各セグメントでの取り組みと共に、部門横断プロジェクト等全社戦略を推進し計画達成を目指す

2023年3月期事業利益計画及び期初計画差異 (単位：億円)

	23年3月期													
	1Q	2Q	上期				下期				通期			
	実績	見込	期初計画	見込	計画差	前年差	期初計画	見込	計画差	前年差	期初計画	見込	計画差	前年差
加工事業本部	12	0	44	12	△ 32	△ 47	56	58	2	△ 8	100	70	△ 30	△ 54
食肉事業本部	71	109	180	180	0	2	180	180	0	2	360	360	0	4
海外事業本部	3	6	9	9	0	3	21	21	0	3	30	30	0	6
球団・その他	8	15	23	23	0	19	△ 23	△ 23	0	△ 3	0	0	0	16
消去・調整他	△ 3	△ 12	△ 16	△ 14	2	2	△ 14	△ 16	△ 2	△ 2	△ 30	△ 30	0	0
合計	92	118	240	210	△ 30	△ 21	220	220	0	△ 7	460	430	△ 30	△ 28

※前年差は非継続事業（マリンフーズ）を除く、継続事業との比較

セグメント別事業利益計画

- 加工事業本部) 数量減少と原料高の影響で通期計画は下回るが、更なる価格改定・アイテム削減・主力ブランドの拡販で収益を確保する
- 食肉事業本部) 飼料価格高騰の影響を受けるが、共創ネットワークによる飼料の効率化やバリューチェーン全体で補完し収益を確保する
- 海外事業本部) 豪州事業による牽引と米州事業の鶏肉加工品の価格改定や生産数量の拡大で収益を確保。引き続き増益を目指す
- 球団・その他) BIGBOSS効果等による観客動員の回復が続き増益を目指す

CONTENTS

1. 2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績

- 4. 実績ハイライト① 2023年3月期通期実績
- 5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績
- 7. セグメント情報 加工事業本部
- 9. セグメント情報 食肉事業本部
- 11.セグメント情報 海外事業本部

2. 2023年 3 月期 計画

- 14. 計画ハイライト
- 17. 2023年3月期計画 加工事業本部
- 18. 2023年3月期計画 食肉事業本部
- 19. 2023年3月期計画 海外事業本部

3. 2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料

- 21. 2022年3月期連結業績概要及び
2023年3月期計画
- 22. 2022年3月期品種別売上高実績及び
2023年3月期計画
- 23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び
連結キャッシュ・フロー計算書
- 25. 外部環境／市況

2023年3月期通期計画 事業利益70億円

利益計画 増減要因分析

(単位：億円)

	2 Q見込	上期	下期	通期
ハム・ソーセージと デリ商品事業	△24	△38	△7	△45
外部要因	△38	△63	△86	△148
主原料価格	△16	△26	△45	△70
副資材・燃料等	△22	△37	△41	△78
内部要因	14	25	79	103
価格改定効果	9	16	66	82
改善活動	6	9	13	21
乳製品・水産と エキス・一次加工品事業	1	1	5	6
DX費用	△6	△10	△6	△16
合計	△29	△47	△8	△54

チャネル別/コンシューマ商品別売上計画（前年比）

ハム・ソーセージ	数量	金額	ハム・ソーセージ	金額	デリ商品	金額
コンシューマ計	99%	100%	ウインナー群	101%	チルドベーカリー群	102%
業務用計	101%	103%	ロースハム群	110%	チルド惣菜群	97%
デリ商品	数量	金額	ベーコン群	107%	フライドチキン群	105%
コンシューマ計	96%	99%	焼豚群	101%	ハンバーグ・ミートボール群	98%
業務用計	95%	98%	コンシューマ計	100%	コンシューマ計	99%

【外部要因】 △148億円

外部環境は、急激な円安の進行もあり悪化

(主な内訳)

主原料：主に豚肉で供給量の減少や北米輸送コスト増加で悪化

副資材：羊腸の高値継続や包材価格等の上昇

燃料等：重油価格上昇もあり悪化

【内部要因】 103億円

価格改定：10月より前期に続き価格改定を実施

改善活動：SKU削減を実施し工場の生産性を向上

【乳製品・水産とエキス・一次加工品】 6億円

乳製品：チーズにおける価格改定を引き続き実施

ヨーグルトは販促展開で売上増加を図る

エキス・一次加工品

：価格転嫁に加え、自社製造商品の開発、販売強化

<主な取組み>

（コンシューマ商品の取組み）

- ・シャウエッセンのエクステンション、大袋等の販売施策強化
- ・BIGBOSSを使った販促等を実施
- ・中華名菜を始めとした主力ブランドへの集中販促及び新カテゴリー開発
- ・新チャネルへの販路開拓の継続

（業務用商品の取組み）

- ・付加価値商品や新カテゴリー商品の開発

2023年3月期通期計画 事業利益360億円

利益計画 増減要因分析

(単位：億円)

	2Q見込	上期	下期	通期
国産牛・豚事業	3	4	3	8
国産鶏事業	△8	△26	△6	△31
輸入食肉事業	9	6	3	9
フード販売	16	24	7	31
DX費用	△5	△10	△6	△15
その他	12	3	0	3
合計	27	2	2	4

【国産牛・豚事業】 8億円

生産部門：飼料価格の高騰が続くが、枝肉相場に一定反映され減益幅縮小

荷受部門：国産相場は高値推移を見込み、価格転嫁を進め増益確保

取組み：豚肉の生産性改善と社外調達の強化で数量を確保

【国産鶏事業】 △31億円

生産部門：飼料価格の高騰のインパクトが大きく、減益幅拡大

荷受部門：節約志向や輸入品高騰による国産シフトで需要が拡大し、相場高騰も価格転嫁を進め増益確保

取組み：桜姫の生産拡大と社外調達の強化で高まる需要に対応

【輸入食肉事業】 9億円

牛肉/豚肉：世界的に堅調な需要で調達価格は依然高騰

物流の混乱も継続し、調達量は減少し増益幅縮小

鶏肉：世界的に堅調な需要と経済優位性から相場堅調で減益幅縮小

取組み：安定調達に向け、新規調達国開拓や米州産牛肉の調達を強化

【フード販売】 31億円

販売：量販は節約志向で鈍化、他チャネルで販売数量増加させ増益

取組み：量販はマーケティングを一層強化し、数量回復と利益率の向上を図る。外食・生協チャネルには専門部署を設置し、需要に合わせた柔軟な提案を実施

4. 2023年3月期計画 海外事業本部

2023年3月期通期計画 事業利益 30 億円

利益計画 増減要因分析

(単位：億円)

	2Q見込	上期	下期	通期
豪州	△2	4	△5	△1
オーストラリア	0	2	△3	△1
ウルグアイ	△2	2	△1	0
米州	△2	△2	8	7
アジア・欧州	1	2	1	2
その他	△1	△1	△1	△2
合計	△3	3	3	6

事業利益計画

(単位：億円)

	2Q見込	上期	下期	通期
豪州	6	9	16	25
オーストラリア	8	15	15	30
ウルグアイ	△2	△6	1	△5
米州	4	5	14	18
アジア・欧州	△1	1	△3	△2
その他	△3	△6	△6	△12
合計	6	9	21	30

【オーストラリア】 △1億円

処理頭数は回復基調も、降雨やワーカー不足により想定を下回る見込みだが、需要は世界的に堅調に推移する見込み

取組み：ブランド食肉比率の向上やアジア、豪州国内向けの販売を強化

【ウルグアイ】 0億円

世界的に需要堅調で、生体価格は高値が継続する見込み

取組み：米国向けに高付加価値の牛肉販売を強化

収益の安定化に向けて生産稼働を平準化

【米州】 7 億円

鶏肉原料価格や物流費・エネルギーコストは引き続き高騰する見込み

取組み：価格改定と生産数量増加による利益額の拡大で収益を確保

【アジア・欧州】 2 億円

タイ：日本向けの輸出において、円安や原料価格高騰の影響が残る

取組み：生産ラインの平準化や生産性向上に取り組み収益を確保

トルコ：為替や近隣国の影響で飼料価格は高値継続

取組み：引き続き価格転嫁を進め収益を確保

CONTENTS

1. 2023年3月期 実績／セグメント別の実績

- 4. 実績ハイライト① 2023年3月期 1Q実績
- 5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績
- 7. セグメント情報 加工事業本部
- 9. セグメント情報 食肉事業本部
- 11. セグメント情報 海外事業本部

2. 2023年3月期 計画

- 14. 計画ハイライト
- 17. 2023年3月期計画 加工事本部
- 18. 2023年3月期計画 食肉事業本部
- 19. 2023年3月期計画 海外事業本部

3. 2023年3月期 主な財務データ／参考資料

- 21. 2022年3月期連結業績概要及び
2023年3月期計画
- 22. 2022年3月期品種別売上高実績及び
2023年3月期計画
- 23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び
連結キャッシュ・フロー計算書
- 25. 外部環境／市況

1. 2022年3月期連結業績概要及び2023年3月期計画

(単位：百万円、%)

		22年3月期実績			23年3月期計画					
		1 Q実績	上期実績	通期実績	1 Q実績	増減率 (%)	上期計画	増減率 (%)	通期計画	増減率 (%)
①	売上高	278,829	569,118	1,174,389	311,512	11.7	610,000	7.2	1,240,000	5.6
②	売上原価	226,845	468,057	974,361	264,446	16.6	510,000	9.0	1,033,000	6.0
	売上総利益	51,984	101,061	200,028	47,066	△ 9.5	100,000	△ 1.0	207,000	3.5
	売上総利益率	18.6%	17.8%	17.0%	15.1%	-	16.4%	-	16.7%	-
③	販売費及び一般管理費	37,522	75,502	157,950	39,961	6.5	80,000	6.0	168,000	6.4
	その他の収益・費用	△ 461	△ 596	2,055	6,097	-	3,700	-	1,200	-
	金融収益・費用	725	10	△ 1,791	△ 454	-	△ 700	-	△ 1,200	-
	持分法による投資損益	739	3,100	9,024	1,646	122.7	2,000	△ 35.5	3,000	△ 66.8
	税引前利益	15,465	28,073	51,366	14,394	△ 6.9	25,000	△ 10.9	42,000	△ 18.2
	法人所得税費用	4,700	8,069	12,668	3,659	△ 22.1	6,500	△ 19.4	11,000	△ 13.2
	税率	30.4%	28.7%	24.7%	25.4%	-	26.0%	-	26.2%	-
	親会社の所有者に帰属する当期利益	9,906	19,604	48,049	10,182	2.8	18,000	△ 8.2	31,000	△ 35.5
	継続事業当期利益	10,663	19,917	38,944	10,496	△ 1.6	18,500	△ 7.5	31,500	△ 19.1
	非継続事業当期利益	△ 757	△ 313	9,105	△ 314	-	△ 500	-	△ 500	-
④	営業利益①－②－③	14,462	25,559	42,078	7,105	△ 50.9	20,000	△ 21.7	39,000	△ 7.3
⑤	為替差損益	△ 607	△ 781	△ 2,997	△ 2,759	-	-	-	-	-
⑥	IFRSへの調整他	2,944	3,213	△ 746	694	△ 76.4	-	-	-	-
⑦	非継続事業への調整	△ 300	△ 1,125	△ 2,295	-	-	-	-	-	-
	事業利益④－⑤－⑥－⑦	12,425	24,252	48,116	9,170	△ 26.2	21,000	△ 13.4	43,000	△ 10.6

2. 2022年3月期品種別売上高実績及び2023年3月期計画

(単位：百万円、%)

	22年3月期実績			23年3月期計画								
	1 Q実績	上期実績	通期実績	1 Q実績	増減率	数量 伸長率	上期計画	増減率	数量伸 長率	通期計画	増減率	数量 伸長率
ハム・ソーセージ	30,791	63,874	131,147	29,924	△ 2.8	△ 5.2	64,000	0.2	△ 0.4	132,000	0.7	△ 0.3
加工食品	55,077	111,560	224,976	55,052	－	△ 7.6	113,000	1.3	△ 0.6	227,000	0.9	△ 1.1
食 肉	169,224	345,615	722,843	198,276	17.2	3.5	374,000	8.2	3.3	774,000	7.1	2.6
牛 肉	65,424	137,743	293,908	84,094	28.5	14.8	153,000	11.1	10.2	327,000	11.3	9.6
豚 肉	54,992	112,368	230,762	60,074	9.2	3.8	121,000	7.7	0.0	242,000	4.9	0.0
鶏 肉	43,876	85,786	179,549	49,192	12.1	△ 2.9	90,000	4.9	2.0	186,000	3.6	0.9
その他食肉	4,932	9,718	18,624	4,916	△ 0.3	17.9	10,000	2.9	0.2	19,000	2.0	0.1
乳製品	8,631	17,120	35,214	8,932	3.5	△ 5.0	18,000	5.1	2.6	36,000	2.2	0.7
その他	15,106	30,949	60,209	19,328	27.9	-	41,000	32.5	-	71,000	17.9	-
合 計	278,829	569,118	1,174,389	311,512	11.7	-	610,000	7.2	-	1,240,000	5.6	-

*非継続事業(マリンフーズ)を除く実績

3. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び連結キャッシュ・フロー計算書

連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

	22年3月期	23年3月期		
	期末	1Q実績	対前期末増減率	対前期末増減額
資産合計	909,213	947,689	4.2	38,476
負債合計	419,659	450,478	7.3	30,819
親会社の所有者に帰属する持分	479,069	486,375	1.5	7,306
非支配持分	10,485	10,836	3.3	351
資本合計	489,554	497,211	1.6	7,657

設備投資額、減価償却費

(単位：百万円、%)

	22年3月期	23年3月期			
	1Q実績	1Q実績	対前年増減率 (%)	対前年増減額	通期計画
設備投資額	8,276	17,769	114.7	9,493	94,200
加工事業本部	3,102	1,529	△ 50.7	△ 1,573	16,000
食肉事業本部	1,420	3,513	147.4	2,093	31,300
海外事業本部	1,039	918	△ 11.6	△ 121	10,300
その他	2,715	11,809	335.0	9,094	36,600
減価償却費	8,925	9,353	4.8	428	37,700

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、%)

	22年3月期	23年3月期		
	1Q実績	1Q実績	対前年増減額	通期計画
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,554	3,869	△ 8,685	66,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,771	△ 30,445	△ 15,674	△ 93,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,649	16,098	23,747	9,300

主な増減要因

- ① 資産合計
棚卸資産241億円増加、および有形固定資産116億円増加等
- ② 営業活動によるキャッシュ・フロー
棚卸資産の増加229億円、法人所得税の支払額32億円等があったが、税引前四半期利益144億円、減価償却費及び償却費94億円、営業債務及びその他の債務の増加108億円等により、39億円の純キャッシュ増となった。
- ③ 投資活動によるキャッシュ・フロー
固定資産等の取得270億円等、事業の売却に伴う支出36億円等により、304億円の純キャッシュ減となった。
- ④ 財務活動によるキャッシュ・フロー
現金配当104億円、借入債務の返済92億円等があったが、借入債務による調達350億円等により、161億円の純キャッシュ増となった。

CONTENTS

1. 2023年 3 月期 実績／セグメント別の実績

- 4. 実績ハイライト① 2023年3月期 1 Q実績
- 5. 実績ハイライト② セグメント別事業利益実績
- 7. セグメント情報 加工事業本部
- 9. セグメント情報 食肉事業本部
- 11.セグメント情報 海外事業本部

2. 2023年 3 月期 計画

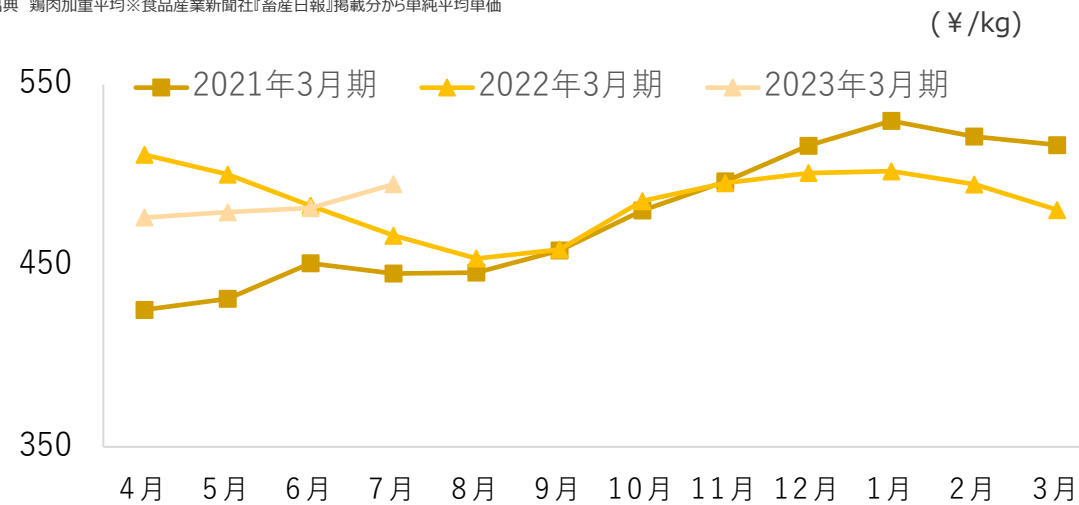
- 14. 計画ハイライト
- 17. 2023年3月期計画 加工事業本部
- 18. 2023年3月期計画 食肉事業本部
- 19. 2023年3月期計画 海外事業本部

3. 2023年 3 月期 主な財務データ／参考資料

- 21. 2022年3月期連結業績概要及び
2023年3月期計画
- 22. 2022年3月期品種別売上高実績及び
2023年3月期計画
- 23. 連結貸借対照表、設備投資額、減価償却費及び
連結キャッシュ・フロー計算書
- 25. 外部環境／市況

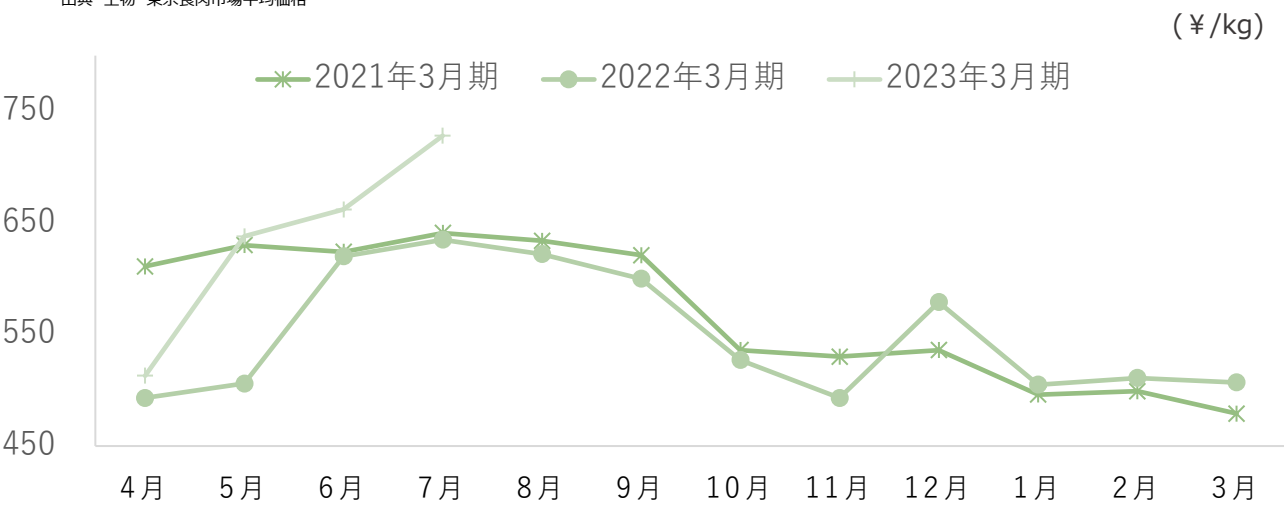
【国産鶏肉相場】

出典 鶏肉加重平均※食品産業新聞社『畜産日報』掲載分から単純平均単価



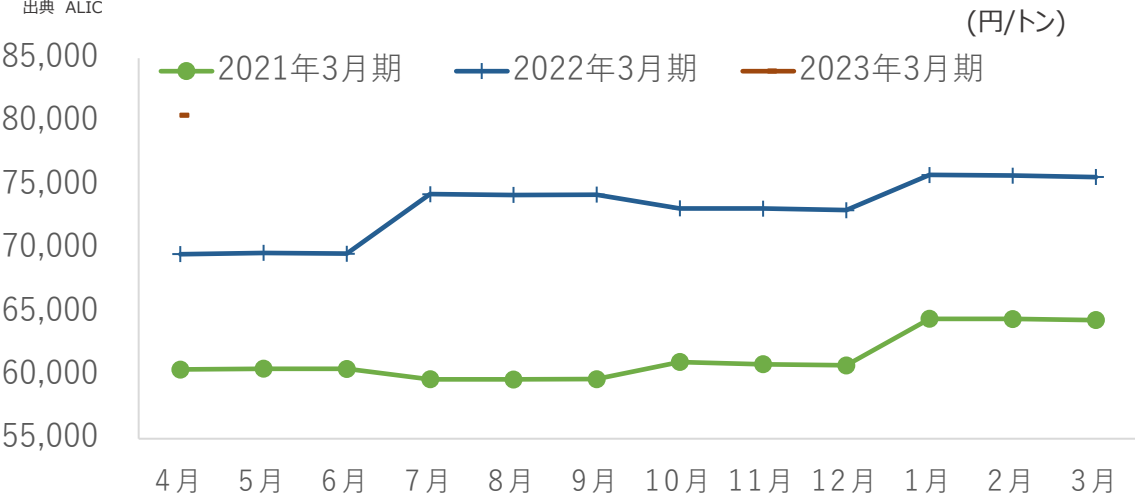
【豚肉枝肉卸売価格】

出典 上物 東京食肉市場平均価格



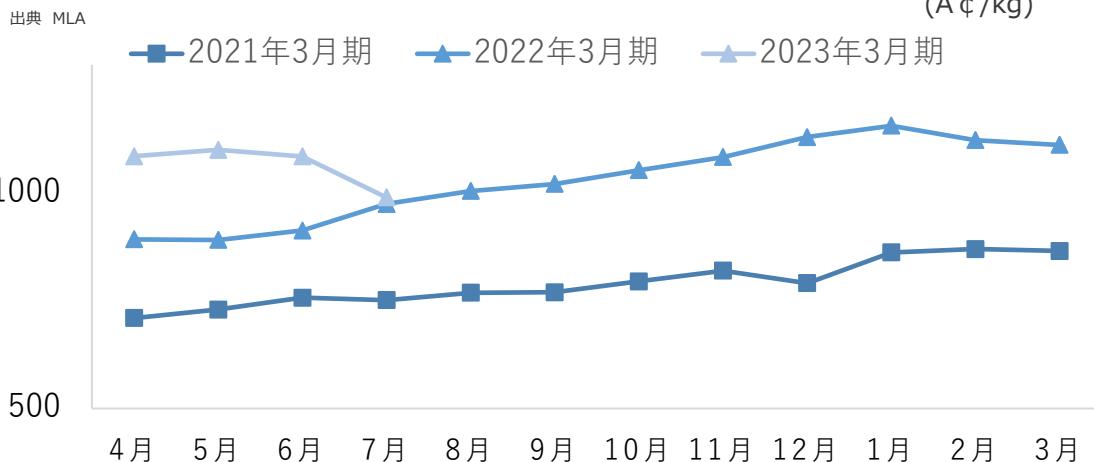
【配合飼料価格】

出典 ALIC

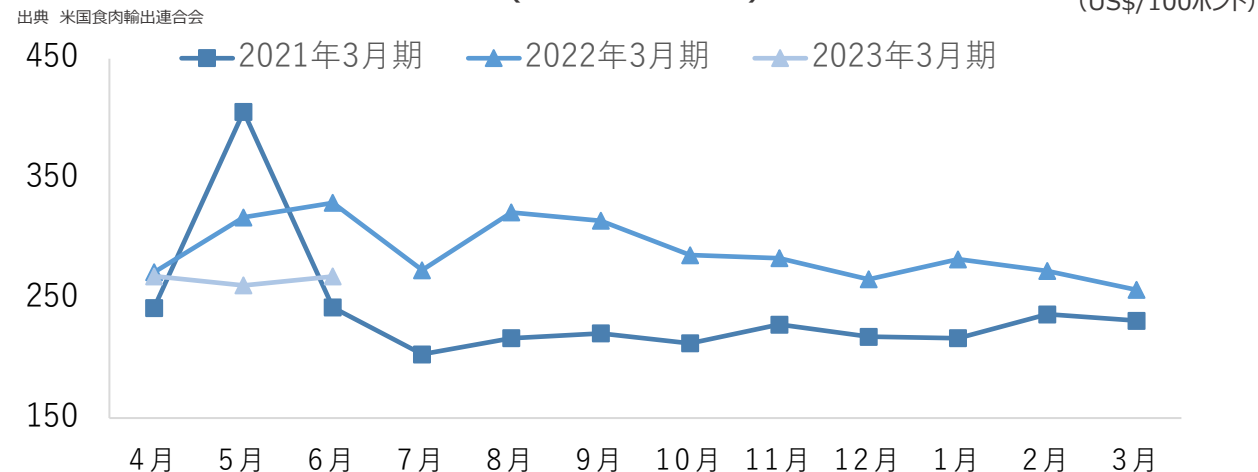


5. 外部環境 市況

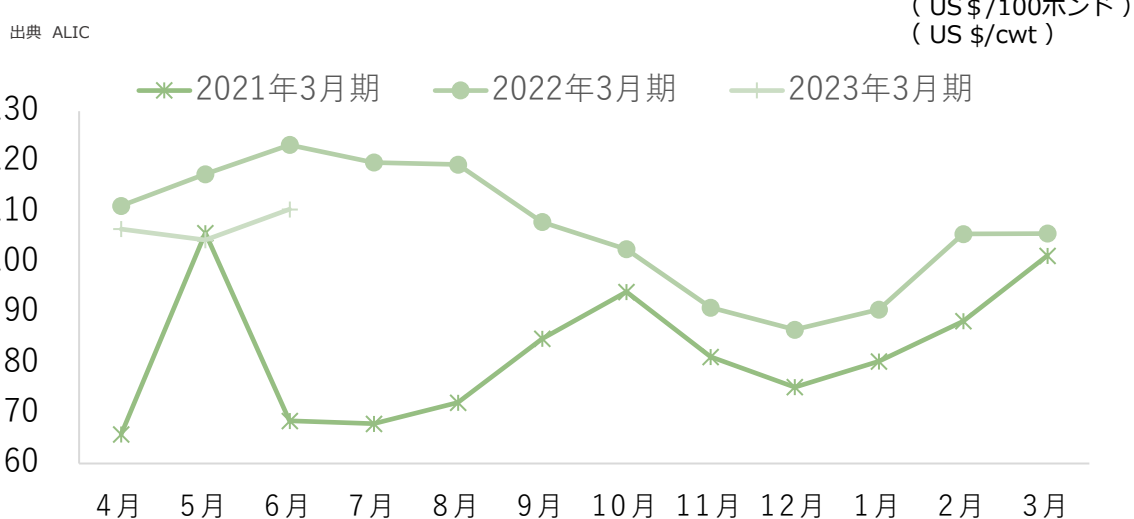
【豪州産 若齢牛価格(生産者販売価格)】



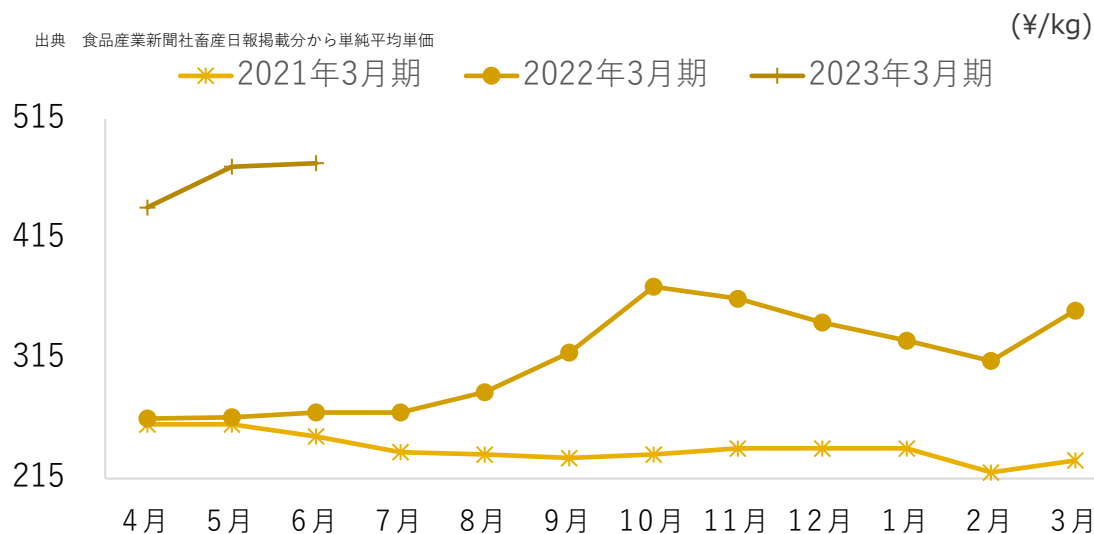
【米国産牛肉 カットアウトバリュー(卸売指標価格)】



【米国産 豚肉カットアウトバリュー 枝肉ベース】



【ブラジル産もも肉価格】



お問合せ先

〒141-6013 東京都品川区大崎2-1-1
Think Park Tower
日本ハム株式会社 広報 I R 部
電話：03-4555-8024
メールアドレス：nhfoods.ir@nipponham.co.jp

見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。従って、これら業績見通しのみに全面的に依拠することはお控え頂きますようお願いいたします。また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おきください。